

経営比較分析表（令和3年度決算）

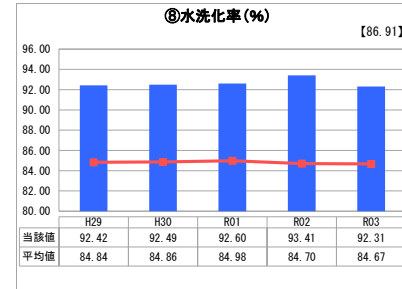
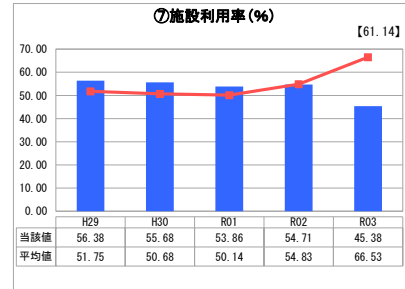
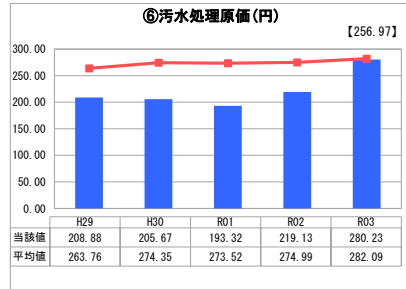
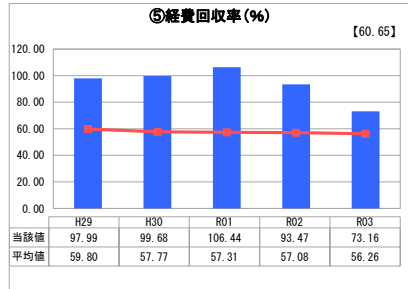
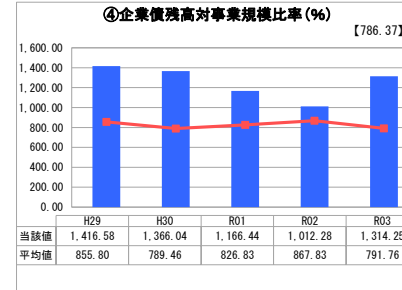
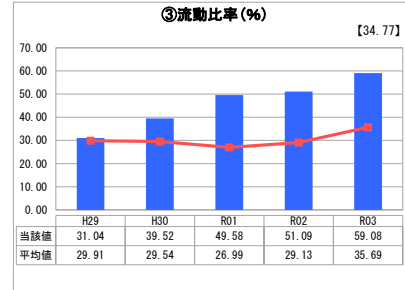
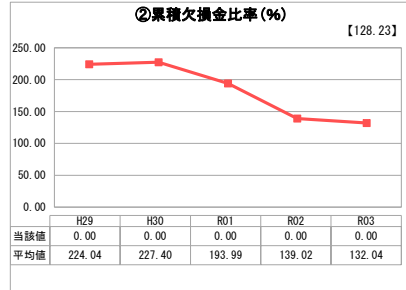
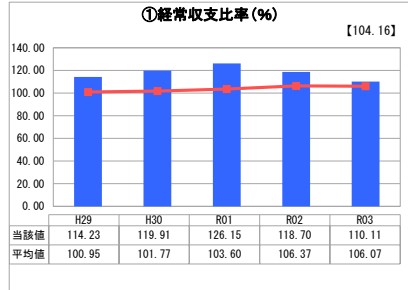
長野県 塩尻市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	66.98	5.09	90.06	3,980

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
66,329	289.98	228.74
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
3,367	2.08	1,618.75

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 令和3年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

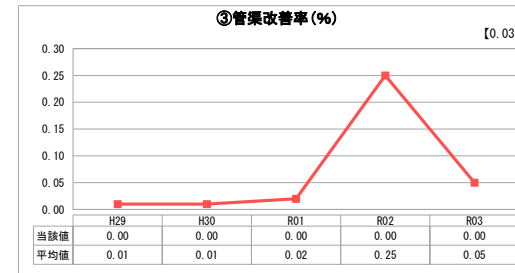
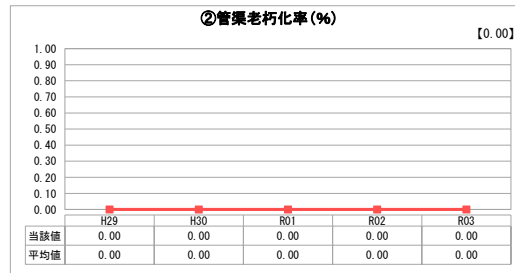
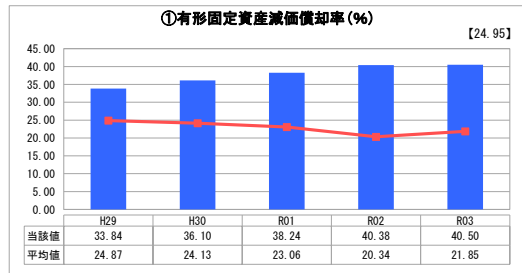
①経常収支比率は100%以上を維持し、経常損益は黒字となっています。
 ②累積欠損金比率は0%で、欠損金は発生していません。
 ③流動比率は100%を超えていますが、類似団体平均を上回る水準となっています。
 ④企業債残高対事業規模比率は、類似団体平均よりも上回っています。企業債残高は毎年度減少しているため、残高は減少していますが、令和3年度は農業集落排水事業の一部を下水道事業に統合したことから、事業規模が小さくなったため、比率は増加しています。
 ⑤経費回収率は、類似団体平均を上回っています。しかし、数値は100%を下回るため、排水施設使用料の在り方に見合った経営の効率化が必要です。
 ⑥汚水処理原価は、類似団体平均を下回っていますが、一部統合に伴い収水量が減少したことから、令和3年度では大きく増加しています。今後、段階的に統合をしていくため、下水道事業において汚水処理原価に注視しながら、費用の効率化に取り組んでいきます。
 ⑦施設利用率は、類似団体平均を下回っています。令和3年度では2箇所の処理場を下水道事業に統合したことで下降しました。今後、段階的に統合を進め、下水道事業における施設利用率の向上を図ります。
 ⑧水洗化率は、令和3年度は一部統合に伴い下降しましたが、類似団体平均を上回り、高い水準を維持しています。

2. 老朽化の状況について

①有形固定資産減価償却率は、類似団体平均よりも上回っています。数値は、毎年度上昇し、保有資産の老朽化が進んでいることを示しています。
 ②管渠老朽化率は0%で、法定耐用年数を経過する管渠はありません。
 ③管渠改善率は0%で、更新実績はありません。

現在、管渠については老朽化を示す状況ではありませんが、ストックマネジメント計画に基づき、管渠更新工事を進めていきます。

2. 老朽化の状況



全体総括

今後の農業集落排水事業経営にあたっては、水洗化率の大幅な向上が見込めないなか、処理区域内における著しい少子高齢化の進展により人口が減少することから、排水施設使用料は減収となっていくことが予想されます。
 施設の老朽化に伴う更新投資の増大、被災時の下水道機能の確保や災害防止の取り組みの強化のため、多額の投資が必要となります。
 処理場の統合を進め、投資と財政のバランスに配慮し、長期的視野に立った効率的で効果的な事業展開を図り、更なる経営改善に取り組むことで、健全で持続可能な事業経営に努めていきます。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。